

ピンクシャツデー2022 in 神奈川 ～「いじめストップ！」ワールドアクション～

長引くコロナ禍は、子どもたちにも暗い影を落としています。そこで、子どもたちに勇気と希望のエールを送りたいとの思いから、今年度も2月に県内各地で「いじめストップ！」ピンクシャツデーキャンペーンを展開することとしました。

皆様のご参加とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

主催：ピンクシャツデー2022 神奈川推進委員会

後援：神奈川県をはじめおよそ60団体に申請予定

■取組概要■

①ピンクシャツデー月間（2022年2月）

神奈川県内各所にて後述のキャンペーンを展開

②ピンクシャツデー（2022年2月23日（水）※2月最終水曜日）13:00～18:00

①に加え、新都市プラザ（横浜駅東口地下2階）にて展示イベントを開催

■内 容■

ピンク色を身に着けることで「いじめストップ！」の意思表示をするピンクシャツデーは、カナダ・バンクーバーの高校生から始まった取組みです。毎年2月の最終水曜日をピンクシャツデーとし、現在では世界に広がっています。

ピンクシャツデー2022in 神奈川では、この取組みを通して子どもや若者が生きる喜びと未来への希望を育める地域社会になることを目指し、多様性を認め合うことの大切さや、希望と勇気のエールを発信します。

県や市町村、企業、団体、NPO、商業施設等が一体となつた取組みは、神奈川オリジナルです。子どもたちの未来のために地域が繋がり行動するこの取組みを神奈川モデルとして全国に発信します。

■事業方針■

～コロナ禍を前提とする～

- ・歌唱やダンス等を伴うイベントの開催は控える。
- ・公式サイト、SNSなどインターネットの活用を進める。
- ・推進委員会の開催は、集合によるほか通信手段の活用を図る。

■取組目標■

- ・ 県域へ広げる。
- ・ 学校や子ども支援活動団体等への浸透を図る。
- ・ サポート企業等の発掘・創出を進める。

■主な事業内容■

1. パネル展「ピンクシャツデー2022in 神奈川」を開催する。

～「いじめストップ！」ワールドアクション～ ※ピンクシャツデー当日イベント

日時 2月23日(水) 13:00～18:00

場所 新都市プラザ(横浜駅東口地下2階)

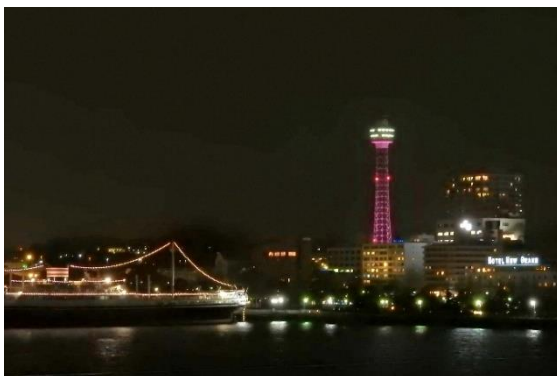
内容 いじめの現状を伝える資料、コロナ禍の子どもたちの現状を伝える資料
各地のピンクシャツデーの取組みの紹介など



2. 県域に広げる。

① ライトアップ実施地域を広げる。(前回は横浜、鎌倉、藤沢)

- ・ 横浜市 : 横浜三塔「神奈川県庁本庁舎、横浜市開港記念会館、横浜税関」、
横浜市新庁舎、コスモワールド観覧車、みなとみらい地区など
- ・ 鎌倉市 : 大船観音寺など
- ・ 藤沢市 : 江の島シーキャンドル、江の島水族館など
- ・ 小田原市 : 小田原城など
- ・ その他の地域



②地域の取組みへの協力や連携を進める。

- ・商業施設等のデジタルサイネージやポスター掲示等
横浜駅西口エリア、横浜東口エリア、みなとみらい地区など
- ・交通機関等でのデジタルサイネージやポスター掲示等
横浜高速鉄道、JR 東日本等の駅など
- ・オリジナルチャリティーグッズの販売等
事務局での販売
横浜駅周辺の百貨店での店頭販売など



③地域の主体へ働きかける。

- ・小田原市
主催/ピンクシャツデー小田原実行委員会 共催：小田原ウイメンプラス
内容/ピンクシャツデーチャリティーイベント
「いじめストップ!!」やさしい心でつなぐ未来
朗読：合田 雅吏さん 小田原ふるさと大使 俳優
ミニコンサート：式町水晶さん 小田原在住, 脳性麻痺のバイオリニスト,
東京パラリンピック出演
- ・藤沢市 主催/一般社団法人藤沢青年会議所
内容/ライトアップの展開による普及の取組み
- ・その他の地域

④SNS 活用の強化を図る。

- ・Facebook Instagram twitter 公式サイト活用と発信
- ・ピンクシャツデー神奈川公式サイト
<https://pink-shirt-day-kanagawa.com/>

3.学校や子ども支援活動団体等への浸透を図る。

①「いじめ」に係るセミナーを開催する。(教育関係者等の参加を推奨)

- ・子ども未来セミナー第3回「いじめストップ！」

日 時 2022年2月6日(日) 14:00~16:00 (オンライン配信)

講 師 山崎聡一郎氏 「こども六法」著者 教育研究者 俳優

合同会社 Art & Arts 社長、慶應義塾大学 SFC 研究所所員

ナビゲーター 西野博之氏 認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンド常任理事、認定 NPO 法人フリースペースたまりば理事長、川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん総合アドバイザー他

②神奈川県内の学校等へポスター・チラシを送付し、掲示を依頼する。

- ・神奈川県、横浜市、川崎市、藤沢市他の教育委員会等に協力いただき、県内のすべての公私立学校へ送付し、掲示をお願いする。

小学校 887 校 中学校 473 校 高等学校 231 校

義務教育校 3 校 中等教育校 5 校 特別支援学校等 53 校 計 1,652 校

- ・神奈川県内の子どもに関する活動団体等にも送付し、掲示をお願いする。

神奈川県内のフリースクール、子育て支援拠点など

神奈川県内の市民活動センター、社会福祉協議会など

- ・その他ポスター掲示、チラシ配架に協力いただける事業者等に提供する。

③学校等向けの参考情報として、取組事例等を収集し公式サイトで紹介する。

④学校等の取組状況や意向を把握する。(前回はグッズ購入8校にアンケートを実施)

4.サポート企業等の発掘・創出を進める。

①後援団体を拡充する。(前回 56 団体)

②協賛協力企業等を拡充する。(前回 75 社等)

③ピンクシャツデー後も情報提供等の関係を継続し、信頼関係を維持発展させる。

(お問い合わせ)

ピンクシャツデー2022 神奈川推進委員会事務局

(特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド)

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1

横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL&FAX : 045-212-5825

E-mail : info@kodomofund.com

URL : <https://www.kodomofund.com>